

2021. 11. 10

天高く澄んだ青空の日が多くなり、谷津の林縁は心なしか紅葉、落葉が見られるようになりました。赤や黄の色鮮やかな紅葉でなく赤褐色の地味な色合いですがまたそれが里山の秋を感じさせ心が和みます。モズの甲高い声、ウグイスの地鳴き・・・自然のすべてが冬へ向けてゆっくり歩みを進めています。

晩秋の里山 色とりどりの木の实・草の实

はっとする  
木や草の实の  
美しさ



コセンダングサ



オオオナモミ



カラスウリ



ニシキギ



ガマズミ



トキリマメ



ノササゲ



ゴンズイ



サルトリイバラ



ヤマコウバシ



センニンソウ



ハダカホウズキ



サワフタギ



ムラサキシキブ



クサギ

晩秋の花？今年もひっそり咲いています。



ヤクシソウ



ノハラアザミ



リンドウ



リュウノウギク

＜季節メモ＞ クサギの实がきれい！

赤い星形の花の上に青紫色の豆がちょこんと乗っているようなかわいい実・・・それは「クサギ」の実です。漢字で書くと「臭木」、葉は独特の匂いがし、悪臭のイメージが先行しそうですが夏に咲く花は美しくよい香りがします。

秋の実には、赤と青の2色の色合いが目を引き、鳥に見つけてもらいやすくしているのです。

この青紫色の実を焙煎材を使わずに青色に染めることができる珍しい実です。新芽は食用に、葉や根は薬用としても利用することもできるそうです。



写真・編集：晝間